

東アジアにおける

# ウナギの保全と

# 持続可能な利用

UNAGI

東アジアに広く生息し、経済・文化的に価値の高いニホンウナギは、河川生態系で重要な役割を担っています。しかし、個体数が激減し、2014年から絶滅危惧種に指定されています。国際的な資源であるため、その管理には国際協力が不可欠です。

EUは、ワシントン条約におけるニホンウナギの貿易規制を提案しており、今年の11月に開催される国際会議で議論されます。これは、ニホンウナギの管理に際し、生態系における役割や経済的・文化的価値を包括的に考慮した国際協力が必要であることを示唆しています。

本シンポジウムは、東アジアの科学的知見と保全策を共有し、ニホンウナギ保全に向けた国際連携を促進します。また、一般市民や科学コミュニティがニホンウナギの将来的な管理について議論する機会を提供します。

● 登壇者

ゴロック・マシュー  
GOLLOCK Matthew  
(ロンドン動物学協会)

王思凱 WANG Sikai  
(中国水産科学研究院  
東海水産研究所)

海部健三 KAIFU Kenzo  
(中央大学)

白銀榮 BAEK Eun-Young  
(韓国海洋水産開発院)

韓玉山 HAN Yu-San  
(国立台湾大学)

● モデレータ

白石広美 (中央大学)

参加登録



● 同時通訳あり

同時通訳を聞くために、ノートパソコンやスマートフォンなどのデバイスと有線イヤホンを持参してください。

◎ 主催：東北大学東北アジア研究センター

◎ 共催：国際自然保護連合うなぎワーキンググループ | 東北アジア学術交流懇話会

東北大学東北アジア研究センタープロジェクトユニット「国連海洋科学の10年」対応ユニット：超学際科学を用いた漁業政策評価

◎ 後援：公益財団法人旭硝子財団・環境フィールド研究・ブループラネット地球環境特別研究助成「ニホンウナギの保全と持続的利用を可能にする管理指標の研究」



◎ 公共交通機関をご利用ください

地下鉄 東西線：青葉通一番町駅より徒歩約10分、南北線：五橋駅より徒歩約10分

バス 仙台駅前①のりば：701・704・706系統「東北大正門前」下車、徒歩約5分

## 2025年9月7日 日

会場 ハイブリッド 14:00～17:00 (13:30開場)

### 東北大学片平さくらホール 2F会議室

参加費無料、要・参加登録 ❖ QRコードよりお申し込みください

+オンライン

問合せ 東北大学東北アジア研究センター事務局

☎ 022-795-6009

Email: [asiajimu@grp.tohoku.ac.jp](mailto:asiajimu@grp.tohoku.ac.jp)

# 東アジアにおける ウナギの保全と 持続可能な利用



## プログラム

司会：石井敦（東北大学東北アジア研究センター）

13:30 開場

14:00～14:05 1. 開会の言葉 高倉浩樹（東北アジア研究センター）

14:05～14:20 2. 趣旨説明

14:05～14:20 ウナギの資源管理のための国際協力

ゴロック・マシュー GOLLOCK Matthew（ロンドン動物学協会）

14:20～15:40 3. 東アジアにおけるウナギの管理方策

14:20～14:40 中国におけるウナギの管理方策

王思凱 WANG Sikai（中国水産科学研究院 東海水産研究所）

14:40～15:00 日本におけるウナギの管理方策

海部健三 KAIFU Kenzo（中央大学）

15:00～15:20 韓国におけるウナギの管理方策

白銀栄 BAEK Eun-Young（韓国海洋水産開発院）

15:20～15:40 台湾におけるウナギの管理方策

韓玉山 HAN Yu-San（国立台湾大学）

15:40～16:00 休憩

16:00～16:50 4. 総合討論 モデレータ：白石広美（中央大学）

16:50～17:00 5. 閉会の言葉 石井敦（東北アジア研究センター）